

## 第一学期終業式式辞

令和5年7月20日

### ※ 初めての通常の高校生活を新しい気持ちで

一年前は、第一学期終業式もオンラインでした。

今年度は、5月8日からコロナも5類となり、様々な行事が、コロナ前より活発に行われています。皆さんにとっては、コロナ前はもう4年前です。その前に高校がどのような状況だったのかわかりませんね。コロナ前に戻ってと言われても、2、3年生は中学生、一年生は小学生の頃のことです。逆に考えれば、新しい気持ちで取り組むことができるということです。

県総体は71名出場いたしました。ものづくりコンテスト木材加工部門では四国大会で、1、2位独占となり、全国大会出場も決定しています。サッカー部のフットサルでの四国大会出場も忘れてはいけません。野球部はお疲れ様でした。一回戦は圧巻で、二回戦は接戦。学校にも地域にも活気を与えましたよ。そして、応援リーダー、チアリーダー、吹奏楽の皆さんご苦労さん。相手校の大勢の応援にも負けない本校の応援が素晴らしかったです。人数だけではない気持ちの広がりをもててくれました。ありがとう。

漢字テストの結果も気にしていますよ。毎回3Eと2G1の熾烈なトップ争いが楽しみです。3年生は全体的に頑張ってますね。1、2年生も負けずに取り組んでください。

### ※ 君たちはどう生きるか・・・「ガンバル」ことは正しい道に向かおうとすること

さて、つい先週宮崎駿監督のジブリ映画「君たちはどう生きるか」が公開されました。まったく内容が知らされず、ポスターのみの宣伝だったことで話題を呼んでいます。映画の題の由来は、主人公が昭和12年に書かれた吉野源三郎さんの小説「君たちはどう生きるか」を読んで気持ちが動いたことです。この小説は数年前にも話題に上り、多くの先生方が「図書館ニュース」や「よしこうLibrary」などで紹介されるベストセラーです。小説の後半のところに上級生から殴られる友達を主人公コペル君が助けることができなかつた上に知らないふりをしてしまったことに対して自己嫌悪になり寝込んでしまう場面がありました。苦しむことに対して、コペル君が慕うおじさんから「君が正しい道に向かおうとしているから」と教えられます。そして友達を裏切ったことを謝る決心をします。皆さんの年齢では、いろんなことに興味を持ち、成長の過程の中で今まで行ったことがないことの経験をするがゆえに、新たな悩みや壁が次から次へとやってきます。

野球部が、NPO法人吉田多夢の会の方と吉田町図書館前の道路下の花壇にフジバカマを植えたことが、NPO法人の活動報告に書かれていたので、見に行きました。正直、最初よく読めなかつたのですが、上のほうから凝視すると「ガンバ吉田」と読めました。よく「ガンバレ」と言いますが、「ガンバル」ということは、次々とやってくる新たな悩みや壁に対して正しい道に向かおうとする気持ちと行動力を持つことだと思います。

宮崎駿監督が一度引退をしたにもかかわらず、「君たちはどう生きるか」という映画を制作したのは、最後は、現実社会の中で戦っていかなければならないということが伝えられたのではないかと思います。

皆さんはこれから夏休みを迎えます。三年生は将来に向けて真剣に考え、具体的に志望を絞っていく時期です。一、二年生は、課題や部活動に新たな課題を見つけながら進んでいくこととなります。そういった意味でこの夏休み、正しい道に向かおうとする気持ちで「ガンバ吉田」です。二学期元気な顔で会いましょう。以上で終業式の式辞とします。